

国際電気通信連合(ITU) 世界電気通信標準化総会(WTSA-20)の 結果概要報告

令和4年6月

総務省 国際戦略局 通信規格課

ITU世界電気通信標準化総会(WTSA-20)結果

日時：2022年3月1日(火)～9日(水) 場所：ジュネーブ国際会議場(スイス・ジュネーブ)

概要：

- 世界電気通信標準化総会(WTSA: World Telecommunication Standardization Assembly)はネットワーク分野の標準化を行う電気通信標準化部門(ITU-T)の総会であり、4年に1回開催。
- COVID-19パンデミック後、ITUにとって初めての物理会合であり、146か国から約1680名が参加。うち約900名が物理参加。
- 我が国からは尾上候補、通信規格課 山口課長、重野分析官、前田参与、ほか58名が参加(うち19名が物理参加)。

1. 会合構成

- プレナリ議長にはTSAG議長のBruce GRACIE氏(エリクソン、カナダ)が就任。
- プレナリ副議長に前田参与、第2委員会(予算)副議長に長屋推進官が就任。
- ロシア推薦のプレナリ副議長及び第5委員会(編集)副議長候補について、同国のウクライナ侵攻に関連し、一部の国が就任に反対し、認められなかった(詳細後述)。

2. TSAG/SG役職者の任命

- TSAG/SG役職者の任命が行われ、我が国からはSG9議長：宮地悟氏(KDDI)及びSG13議長：谷川和法氏(NICT)が任命されたほか、SG及びTSAG副議長として7名が任命された。
- すべての議長及び日本人役職者は別紙のとおり。
- ロシアのウクライナ侵攻に関連し、ロシア推薦の候補者がSG役職者を務めることに一部の国が反対し、投票を行った結果、ロシア候補者はSG役職者として認められなかった(詳細後述)。

3. 決議案に関する審議

- 審議時間が限られる中、決議案についてコンセンサスが得られない場合は、オリジナルの文章から変更しないことを大原則とし、迅速に審議が進められ、2件の新決議及び36件の決議改定に合意した。

1) 合意した新決議

➤ 新決議「ITU-T SGの組織再編の検討」

WTSA-24におけるSG再編に向けて、TSAGで行われている現状分析等を決議で追認したもの。

➤ 新決議「アフリカ共通の緊急電話番号」

アフリカの加盟国に対し、勧告ITU-T E.161.1に沿った共通緊急番号の実施に関する技術支援をT局長に指示。



WTSA-20会場(背後のビルはITU本部)



3. 決議案に関する審議(続き)

2) 2022年全権委員会議(PP-22)において議論することが推奨され、作成・変更されなかった提案

➤ 決議32「電子作業方法」、新決議案「対面とバーチャルの公平な利用」

オンライン会議の活用やガイドライン作成が提案された(日本提案を含む)が、全セクターに関わるものとして、PP-22において議論することを推奨した。

➤ 新決議案「AI」

アラブ地域から提案されたが、研究対象のAI関連技術をITUのマנדート内とするための文言(例: AI related telecommunication/ICT)に合意出来ず、PP-22での議論を推奨した。

➤ 新決議案「パンデミックに対するICTの活用」

アジア、アラブ、アフリカから同様の内容で提案がされたが、他のセクターも関わる提案とされ、PP-22での議論を推奨した。

3) 関連SG等で議論すべきとされ、作成されなかった新決議提案

➤ Open RANを含むオープンアクセスネットワーク

※MSISDN: Mobile Subscriber Integrated Services Digital Number (携帯電話の電話番号のこと。国番号から始まる最長15桁の番号。)

➤ MSISDN及びIMSI※における16進数の利用

IMSI: International Mobile Subscriber Identifier (携帯電話の加入者に発行される、国際的な加入者識別番号。SIMカードに記録される。)

➤ SMART海底ケーブル



ロシアからの動議の瞬間

4. ロシアのウクライナ侵攻に伴うSG役職者等に関する議論

- 初日のプレナリにおいて、ウクライナ、EU27カ国、米加英豪日ガーナがロシアによるウクライナへの侵攻を非難する声明を読み上げ。ウクライナが、ロシアがUN憲章に違反したことを理由として、WTSA-20、TSAG、SG役職者にロシア推薦の候補者が任命されることに反対し、EU27カ国、米加英豪が支持。ロシアは、役職者の選定基準に国籍条項はないとして、ウクライナの発言に反対し、ベラルーシが支持。
- 複数のHoD会合及び個別国間で調整が行われたものの、最終日まで合意が得られなかった。
- ITU-T事務局は、ロシア候補者を未合意のまま含めたTSAG/SG役職者のリストを最終日のプレナリに提出。ウクライナ、EU27カ国、米加英豪日、スウェーデン、アイスランドが、ロシア候補者の削除を支持、ロシア、中国、ベラルーシが反対。
- 議長から、ロシア推薦の候補者を削除することで合意する旨の発言があり、ロシアが無記名投票を求める動議を実施し、投票が行われることとなった。
- 投票の結果、有効投票 100、支持(ロシア候補者の削除)53、反対19、棄権28となり、ロシア候補者を削除したTSAG/SG役職者のリストに合意した。



日本レセプションで挨拶する尾上候補
左：山崎寿府代大使、
右：ジャオ事務総局長

5. その他の関連イベント

- 3月2日、尾上候補を紹介する日本レセプションを開催
- 3月8日、世界女性デーに合わせて「標準化専門家会合の女性」イベントが開催。NEC永沼氏がリモートで登壇し、ITU事務局より永沼氏のこれまでの貢献に対して表彰状が贈られた。



イベントでスピーチする永沼氏(右)

【別紙】 TSAG及びSG構成並びにその議長及び副議長

SG等	活動内容	議長		副議長(日本)	
TSAG	ITU-Tの活動の作業方法、優先事項、計画	Mr. Abdurahman AL HASSAN (サウジアラビア)	新	永沼 美保(NEC)	新
SG2	サービス提供の運用側面及び電気通信管理	Mr. Philip RUSHTON (英国)	再	—	—
SG3	料金及び会計原則並びに国際電気通信・ICTの経済及び政策課題	Mr. Ahmed SAID (エジプト)	新	本堂 恵利子(KDDI)	新
SG5	電磁界(EMF)、環境、気候活動、持続可能なデジタル化及び循環経済	Mr. Dominique WÜRGES (フランス)	新	高谷 和宏(NTT)	再
SG9	音声映像コンテンツ伝送及び統合型広帯域ケーブル網	宮地 悟史 (KDDI)	再	—	—
SG11	信号要求、プロトコル、試験仕様及び偽造ICTデバイス対策	Mr. Sh. Ritu Ranja MITTAR (インド)	新	—	—
SG12	性能、サービス品質及びユーザー体感品質	Ms. Tania VILLA TRAPALA (メキシコ)	新	山岸 和久(NTT)	新
SG13	将来網及び新興ネットワーク技術	谷川 和法 (NICT)	新	—	—
SG15	伝送、アクセス及びホーム網のためのネットワーク技術と基盤設備	Mr. Glenn Wilson PARSONS (カナダ)	新	—	—
SG16	マルチメディア及び関連デジタル技術	Mr. Zhong LUO (中国)	再	山本 秀樹(OKI)	再
SG17	セキュリティ	Mr. Heung Youl YOUM (韓国)	再	三宅 優(KDDI)	再
SG20	IoT並びにスマートシティ及びコミュニティ	Mr. Hyoung Jun KIM (韓国)	新	山田 徹(NEC)	再

赤字は今回活動内容に変更があったもの
新：新任、再：再任